

アジアの友

The Asia-no Tomo

10-11

OCTOBER-NOVEMBER

2010

(座談会) 私たちの日本留学

(インタビュー)「留学生の就活②」 株式会社オリジネーター

小木曾理事長の中国訪問記



2010夏!

ABK 盆踊り開催 (8/27)

猛暑の中、恒例の盆踊りを開催しました。タイのグリーンカレー、豚肉のガーリック炒め、デザートのカシマブラウ、韓国のトッポッキ、台湾かき氷、たこ焼き、焼き鳥の屋台で腹ごしらえ。そして『つくも会』の力強い太鼓のリズムで盆踊りが開幕。地域の踊りの会の皆さんをお手本に留学生が見よう見まねで踊りを楽しみました。今年も、東京後楽ロータリークラブから浴衣を5組贈呈していただきました。



荒川区大太鼓盆踊りにやまぶき寮生が参加 (9/4)



やまぶき寮の留学生が荒川区の大太鼓盆踊りに参加しました。荒川区国際交流協会のみなさんに浴衣の着付けと踊りの指導をしていただき、日本の暑い夏の夜を楽しみました。

荒川区総合震災訓練にやまぶき寮生が参加 (9/5)

やまぶき寮の留学生が荒川区の総合震災訓練に参加しました。これは大規模地震の際にもあわてず迅速な行動がとれるように毎年行われているものです。会場となった都立汐入公園には大勢の地元住民が訪れ、防災や救急関連の展示や実演を見学し、地震や煙を体験していました。



アジアの友

2010年10-11月号 第487号

目次

- | | |
|----|--|
| 2 | <座談会>
私たちの日本留学 |
| 14 | <インタビュー>
株式会社 オリジネーター「留学生の就活②」 |
| 18 | <小木曾理事長の中国訪問記>
ABK 同窓会（中国）の交流懇親会開催 |
| 20 | <留学生コラム>「ちょっとした思い出」 程 希平 |
| 24 | <知友会通信> 奨学金・イベント情報 |
| 27 | <メンバーズ> ご入会とご寄付のご報告 |
| 28 | <ご報告> ABK 同窓生募金（2010年9月30日現在）
募金に関するメール |

<表紙写真> 2010ABK 盆踊りより

座談会



参加者： 陳曦さん（中国） 許 真さん（韓国） 張 和希さん（マレーシア）
キン キントウエさん（ミャンマー）

留学生 30 万人計画を背景に、関係者の間では「入口（入学）・出口（就職）戦略」をはじめとした留学生増に向けた戦略が練られている。もっとも、どんなにお金や時間をかけて作られた計画も、それが留学生の実態を把握したものでなければ絵に描いた餅にしかならない。そこで今回は、国籍も専攻も異なる現役の留学生 4 人にお集まりいただき、それぞれがどんな入口から入り、将来どんな出口に向かおうとしているのか、それぞれの日本留学について語ってもらった。

中国は手取り足取り、日本は放任？

編集部 ではお一人ずつ日本留学の経緯や、現在に至るまでを話していただけますか。まず陳さんお願いします。

陳 私は上海の復旦大学で電子工学の修士課程を修了して、上海で就職するつもりだったのですが、父母に留学を勧められておじがいる日本に来ることになりました。おじは中

国食材の輸入・販売を行う物産店を経営しています。私は日本留学と言っても、どの学校にどうやって入ればいいのか何も情報が無かったので、まずはおじに頼みました。

最初の 1 年間は日本語学校で勉強をしましたが、当時はアルバイトにもけっこう時間を使っていましたから、今も日本語は下手なんです（笑）。日本語学校修了後はおじや友人の勧めで東京工業大学の博士課程に進学

しました。そこで1年勉強したころ、先輩の紹介でNTT コミュニケーションズでシステム開発のエンジニアをすることになり、しばらく経験を積みました。

今は研究に専念していますが、先生は優しい方ですから、私のわがままも許してくれますし、あと1年ほどで、先生のためにもなんとかドクターをとるつもりで勉強しています。

編集部 アルバイトはかなりやられたということですね。

陳 来日当初からお金はありませんし、その時は奨学金の情報なども知りませんでした。おじが留学した25年くらい前はみなバイトをして稼ぎながら学んだということで、自分も同じようにがんばったわけです。仕事は店頭での販売のほかにお店のホームページの作成・メンテナンスをやっていました。今は早稲田大学で中国語の講師をやったり、外資系企業でプログラマーをやって稼いでいます。また、全日本中国人留学生学友会のホームページを作っていて、それがきっかけで、副会長をやっていますが、こちらはもちろんボランティアです（笑）。

編集部 大学院進学後は奨学金は探さなかったのですか？

陳 奨学金は大学院に入ってから申請して、1年間だけ月13万ほどもらっていましたが、今は終わってしまったので、生活費はアルバイトで稼いでいます。

マイケル 復旦大学の大学院でやっていたことと、東工大でやっていることを比べて、違いはありますか。

陳 復旦では先生から細かく指導してもら



陳 曦 (Mr. Chen Xi)

中国出身 2003年来日

東京工業大学大学院 集積システム専攻（博士課程）

えますが、東工大では大部分を自分で決めて自分でやります。ただ、復旦の時は修士で、今は博士ですから一概に比較はできませんね。復旦では学内誌の論文も書きましたが、日本の修士ではそれはやる必要はありません。ですから大きな違いは、中国は先生が決めてやる、日本は自分で決めてやるということです。日本は、自由なのはいいのですが、何をしたいかわからないときはとても困ります（笑）。先生に相談してみても、話を聞いて「じゃあやってみて」、という感じで細かいプロセスまでは教えてもらえません。

編集部 日本で有名な先生は忙しいんです。みなさんは実績や知名度からその先生のもとで勉強したいと日本に来ますが、忙しすぎて全然指導してもらえないこともあります。



許 真 (Ms. Heo Hin)

韓国出身 2006 年来日

桜美林大学大学院 国際学研究科 国際協力専攻 (博士課程)

一方で、地方に行っていい先生に出会って、時間をかけてしっかり指導してもらい、博士号をとって帰る人もいますから、本当に運もあるし、わからないですね。

陳 今は研究の問題、就職の問題、お金の問題と3つの問題がありますが、奨学金があったらもっと研究に専念できますから、お金の問題が一番大きいかも知れません。もういい歳ですから (笑)、早く卒業して仕事がしたいと思っています。

編集部 ドクターの論文はどのようなテーマですか。

陳 今は信号処理、デジタル・シグナル・プロセッシングについて研究しています。

編集部 日本に来て、一番困ったことはなん

でしょう。

陳 日本に来て5年ですが、一番困っているのは日本語が下手だと言うことです (笑)。大学での勉強は英語ですから、問題はないのですが、就職は日本語が良くないと難しいので。

編集部 2年間派遣社員として働いた経験がありますが、その時はどうでしたか。

陳 会議などには少し参加しましたが、話すチャンスはとても少なかったのも、あまり問題は感じませんでしたね。

キン 学校以外で、自分で日本語の勉強はしていないんですか？

陳 仕事しながら、必要に応じて勉強はしましたが、特別なことはしていませんね。先生やゼミの仲間との交流も英語でしています。

編集部 留学生が多いということですか？

陳 ゼミの学生は13人くらいで、日本人は7～8人、残りは外国人です。ただ、発表の時は別で、博士の学生はみな英語で、修士は日本人学生は日本語で発表しています。

新聞配達で夢を繋ぐ

編集部 では、許さんの話を聞かせていただけますか。

許 私は中学校の時から夏目漱石や三浦綾子などが好きで、韓国語の翻訳本をよく読んでいましたから、日本の文化にはすごく興味がありました。将来は記者になるのが夢だったのですが、それもあって、1995年に韓国のKBSの女性記者で日本特派員だった田麗玉 (チョン・ヨオク) さんが書いた「日本は

ない」と言う本を読んだんです。内容は日本女性論を中心に日本を批判したものなのですが、それを読んで、ますます日本への関心が深まって、大学生になったら日本に留学したいと思い始めたんです。

親も私の気持ちを理解して応援してくれるはずだったのですが、1998年、キム・デジュン政権の経済改革で銀行マンだった父は仕事を失ってしまい、その後自分で起業をしたもののうまくいかずに家は経済的に留学どころではなくなってしまいました。私も将来安定した道を歩むために教員学校に入り、教員免許を取得しました。でも卒業後に受けた国家公務員試験は倍率が非常に高く、落ちてしまったんです。それがきっかけで、日本に留学したいという気持ちが再び強くなりました。ただ気持ちはあっても貯金はなかったので、悩むしかなかったのですが、そんなとき読売新聞が行っている新聞奨学生募集の広告を見つけて、説明会に参加し、すぐに応募することを決めました。

新聞奨学生は販売店の寮に住み込みで、1年半、朝2時に起きて朝刊を配り、日中は日本語学校に通い、夕方帰宅後に夕刊を配るという生活を送ります。仕事と勉強の両立が大変なのは確かですが、住居費も学費も無料ですし、給与も出ますから、貯金の無い私には素晴らしい条件でした。配属された店舗に女性の奨学生は私一人しかいませんでしたが、仲間とも楽しく過せて苦痛はありませんでした。

その後日本語学校の奨学生に学校の代表として選ばれて、新聞奨学金とは別に1ヶ月6万円くらいの奨学金を1年間いただき、

無事卒業することができました。

編集部 少し貯金する余裕もありましたか。

許 新聞奨学生は住み込みで家賃を払わないから意外と余裕があるんですね。私の場合は弟も日本に呼んで日本語学校に行かせたのですが、彼の学費も私が出したんです。

別の奨学金をもらえたので、その分は大学院進学のために貯金していました。

大学院に入ってから大学で2人しか選ばれない国費留学生になれたので、今度は学費免除で生活費もいただけて、本当に運が良かったと思っています。

編集部 やはり優秀なのでしょう。

許 一番ありがたいのはそれで経済的、時間的に余裕が出来、かつ海外へ調査をかねて短期間行くこともできるようになったことです。新聞配達をやっている時を考えたら、勉強や調査に費やせる時間はまったく違います。もちろん今奨学金をいただけるのは自分のためだけではないですよ。このお金で勉強して得たものを社会に戻さないといけない。だから今はできるだけ勉強したいと思っています。

編集部 感心するな～。専攻や大学はどのように決めたんですか。

許 私は大学時代から弱い立場にある人たちのために何かをしたいと思っていたこともあり、日本語学校生の時に、早稲田大学アジア太平洋研究科が開催した開発途上国に関するセミナーに参加したんです。そして途上国に暮らす子供たちや彼らが置かれた環境の話を聞いて、心が動かされました。それがきっかけで、今の学問を専攻することになったんです。今の大学を選んだのは、

難民問題やNGO論、安全保障など国際社会の現場で使える実務的な教育カリキュラムが中心となっていて、研究と現場のかけ橋を目指している自分にとっては最適な環境だと思ったからです。。

編集部 ベンガル語ができるんですね。

許 去年2回くらいインターンシップでバングラデシュに行ったのですが、それがきっかけで、今クラスでネイティブから教えてもらっています。

陳 具体的にはバングラデシュの子供を助けたんですか？

許 バングラデシュに限らず、イスラムの女性というのは立場が弱いのですよね。そういった方々の支援について学んでいます。

編集部 今後、博士号をとる予定はありますか？

許 はい。論文は日本で書く予定ですが、アメリカやヨーロッパなどの様々な地域から来た同じ分野を学ぶ人たちと、一緒に勉強してもっと成長したいと思い、イギリスの大学にもしばらく行く予定です。

マイケル なぜジェンダーと言う専門分野を選んだんですか？

許 弱い立場にある人の力になりたいというのが私の考えの基本です。韓国も儒教文化の国なので、女性の地位というのはすごく低い。経済的には成長したかもしれませんが、

まだまだ女性は社会的に差別されることが多いですから。

マイケル じゃあ勉強して母国の状況を変えようと思っているんですか？

許 こんな私でいいのかわかりませんが、一人でも二人でもこういった研究をして活動をする人が増えれば、社会はちょっとずつ変わって行くのではないかと考えています。

編集部 将来はどんな仕事を考えていますか。

許 とりあえず、出来るだけ大きな国際



NGOで経験を積んで、最終的には国連に入りたいのですが、それは難しいかな（笑）。今事務総長が韓国人なので、先生に入りやすいと聞いたのですが、そうは言っても大変ですよ。

高専から大学への道

編集部 じゃあマイケルさんの話も聞かせてもらえますか。

マイケル 僕の場合は、高校を卒業する時になって、なんとなく海外に留学したいと思ったのですが、家の経済状況を考えれば、親の援助は難しいと思っていました。その時にたまたま高校の全国統一試験で成績が上位20%に入り、留学する場合は政府の奨学金がもらえることになったんです。も

ともとはイギリスに行きたかったのですが、私のその時の成績、英語力だと難しいということでした。そこで私より少し成績が悪かった先輩が合格した日本を、私も選ぶことにしたんです（笑）。

編集部 留学先として一番人気があるのはやはりイギリスなんですか？

マイケル イギリスに限らず英語圏の国々は人気で、アメリカとイギリス、オーストラリアにはたくさんのマレーシア人が留学しています。日本語のように新しい言語を学ばなければならない道を選ぶ人はあまりいません。それに日本に行くコースは日本語を学ぶ時間分、英語圏の国より少なくとも1年間留学期間が長くなってしまいます。現地語を学ぶという意味ではドイツやフランスもそうですが、具体的な理由はわかりませんが、その2カ国は日本より人気がありました。実は私もドイツと日本、どちらに行くか迷ったのですが、結局日本を選びました。そのわけは、その時読んだナノテクノロジー（ナノテク）に関する本に、「コンピューター時代の次に来るナノテクは日本が一番進んでいる」という記述があり、それじゃあ僕も日本に行って運を試してみようと思ったんです。

編集部 結果はどうでしたか。

マイケル 日本に来て、大学に入ってわかったのですが、ナノテクというのはもうどこにでも普通に使われていて、次世代でも何でもなかった（笑）。ですから今は、日本に来てから興味を持ったロボット分野、具体的には医療ロボットを研究しています。

キンキン 日本来て何年経ったんですか？

マイケル 2005年に来日したので6年目です



張 和希 (Mr. Michael Tiong Hoe Hee)

マレーシア出身 2005 年来日

東京大学大学院 工学部 精密機械専攻(修士課程)

ね。来日前の2年間はマレーシアで日本語を勉強して、来日後はまず明石市にある高専で3年間勉強（3年生に編入）し、卒業後、大阪大学（阪大）の3年生に編入しました。そして大学院からは東京大学で学んでいます。

編集部 なぜ高専は明石を選んだのですか？

マイケル 理由は簡単なんです、高専が駅に近かったのと、関西だったからです（笑）。その時の計画は3年間関西に住んで、あとの大学2年間は東京に行く予定でしたから。結局ほかの理由で関西に残ることになったのですが、初めはそのまま大学院も阪大に行くつもりでした。でも、途中でやはり東京に行ったほうがいいのかと気持ちが変わり、



キン キン トゥエ (Ms. Khin Khin Htwe)
ミャンマー出身 2006 年来日
中央大学 商学部 4 年生

東大を受験しました。

編集部 高専から進学先の大学はどのように選びましたか。

マイケル それは日本人と一緒に、自分から積極的に日本人の先輩を捕まえて、いろいろ情報をもらいました。寮に住んでいたのですが、寮生はその時は勉強が出来る人が多かったの、彼らからもいろいろ情報を得ました。

編集部 今はネットでの情報収集が盛んですが、コンピュータから得られる情報というのはそれほど多くないですか？

マイケル ネットも役に立ちますが、やはり現場にいる人からの情報が一番価値があるんじゃないかと思います。

キンキン 博士まで行くんですか？

マイケル 博士というのは、夢を持っていないと行くのは難しいんじゃないかと思います。だから今は、とりあえず就職したいと思っています。博士課程に行くのは経験を積んで、夢が見つかったからでもいいかなと。

編集部 夢を持っていないとドクターで乗り切るのは大変だということですね。

マイケル そう、夢と興味ですね。

キンキン 今もマレーシア国費留学生という立場なんですか。

マイケル そうです。

編集部 では経済的には恵まれた留学生生活を送れているんですね。マレーシア政府派遣留学生、昭和56年以降のマレーシア政府による東方政策 (look east policy) 派遣留学生ですね。

マイケル まだあるのかな。そろそろ終わるのでは・・。

キンキン 就職はどんなことがしたいですか。

マイケル 僕の将来の夢は医療ロボットの技術を持って、日本だけではなく世界中を回ることです。

編集部 かなり恵まれてはいますが、何か困っていることはありますか。

マイケル 困っているのは日本人との人間関係についてですね。マレーシア人は誰とでもすぐ友達になる、友達を作りやすい国民性なのですが、日本では友達になるのに1年間とかそれなりの長い時間がかかるので、それは慣れませんね。留学生同士だと、どこの国の人とでも、喋るとすぐに会話が弾むのですが、日本人とはそうはいかない (笑)

キンキン それは日本人の国民性なんで

しょうね。初めから会ってすぐの人と仲よくなろうという気持ちがない。初めはこの人大丈夫かなと疑ってかかる。そうやってしばらくその人を見て、それで魅力を感じたらそこで初めて友達になろうとするんだけど、一度友達になるとその付き合いはずっと続いていくという感じです。

日本には推薦のシステムがどこの分野でもありますが、それはなぜかという、AさんとBさんが推薦してくれる人とされる人の関係でお互いに信頼していると、Bさんを信頼するCさんもAさんを信頼できるから、そうやってお互い。

編集部 何か問題が起きたときに、一緒に考えてくれる人がいるというのは非情に心強い、ということはありませんね。

キンキン そうした関係は私たちの国でも無いわけではありませんが、そこまで強くはありません。

マイケル マレーシアでもそういうことはありますね。

編集部 キンキンさんの話も聞かせてください。

素晴らしき募金活動の経験

キンキン 私はミャンマーのヤンゴン外国語大学で日本語を専攻していたのですが、3年生が終わる頃に、進路のことを親と話したんです。留学も選択肢にありましたが、シンガポールやマレーシアへの留学と違い、日本は物価がミャンマーの10倍ですから、行くのはとても難しい。そうやって迷っている時

に、通っていたもみじ日本語学校の推薦で岩國育英財団の奨学金をいただけることになり、日本に来ることが出来たんです。

親に勧められて日本語を始めたのですが、最初は興味もなく、嫌でいやでしょうがありませんでした。それが、もみじ日本語学校で日本人の先生と出会い、彼女をすごく好きになり、先生に褒められるのが楽しくて、そこから本気で勉強するようになりました。そして、奨学生に選ばれるまでなれたんです。ですから先生には本当に感謝しています。

就活の極意とは

編集部 キンキンさんはすでに就職が決まりましたが、大学院に行くことは考えなかったのですか？

キンキン それは迷いました。両親も大学院を出ていて、2人とも教育熱心ですから、そういう意味で大学院くらい出たほうがいいのでは、と言われたんです。でも、私はミャンマーで大学を一度終えた後に、また日本の大学で学びましたから、自分の中では大学院に行ったのと同じような感覚でしたし、それより社会に出て勉強するほうが、私には学ぶことも多いと思ったんです。

編集部 ミャンマーでサイクロンがあったのは来日してからですね。

キンキン そうです。150万人ほどの被害があって、亡くなった方も大勢いました。私は、サイクロン直後のすごく大変な時期に募金活動をやりましたが、その募金活動は日本に来て一番勉強になったことかもしれません。

ホームページや報告書を作ったり、大学や生協に募金協力をお願いに行ったり、街頭募金をやったり、それは今までの人生にない貴重な勉強の機会になったと思います。

私は日本に来た後はアメリカに留学したいと言う夢があったので、大学1年生の時は、月の奨学金10万円を全部貯金して、生活費や学費はアルバイトで賄っていました。先輩も私の家が貧乏で、仕送りでもしているからそんなに働いているのだろうと勘違いしていたくらいです（笑）。

でも2年生の5月にミャンマーでサイクロンがあった時に、たくさん貯ったお金をパッと寄付したくなったのと同時に、自分は何をやりたいのかということを考え直したんですね。そして私の今までの考えは、とても自己中心的だったということに気づき、被害を受けた母国のために何かをやらないといけないと思ったんです。それからはアルバイトを全て休んで、貯金を使って生活しながらサイクロン被害者の支援活動を始めたんです。活動はそれまで貯金をしたお金があったから出来たことで、先輩たちは気持ちはあっても、自分たちの生活で精一杯なので、誰も私と同じことはできませんでした。

アメリカに行く夢を諦めたわけじゃないけれど、サイクロンの募金活動をやっている中で、人のために何かをやらないといけない、生きている中で、やるべきことはいっぱいあるということに気付いたんです。就職もそのステップなので、そこでがんばって仕事がうまくいったら、それをミャンマーに持って行く。そしてミャンマーで100人でも200人でも雇用を生み出して、母国に貢献

するというのが今の大きな夢ですね。

編集部 本当に募金活動にはいろいろな方が協力してくれましたね。

キンキン 奨学金財団の理事長にはいろいろ教えていただきましたし、ABKも色々留学生支援の経験を持っていたし、ミャンマー側のもみじ日本語学校の先生も現地代表として積極的に動いてくれました。その時気付いたのは、普段の生活の中で、自分はしっかり見られていたんだということ。みな「あなたなら大丈夫よ」とか、「あなたなら協力する」と言ってくれる。その一言一言に、特別なことをしているわけじゃなくても、周りの人は自分のことを普段からよく見て評価してくれているんだなあということを実感しました。自分は普通に生きているつもりでも、周りは自分のことを見ていて、何かあった時に声を上げてくれる。それは感動的な経験でした。

編集部 将来的にはミャンマーに帰国して活躍したいということですが。

キンキン 私は自分の国が好きです。アメリカに行って、もっと勉強したいと思ったのも、母国が良くなるためですから。今は帰国して、国内で活動することで国を良くしたいという気持ちが、募金活動を通じて強くなったということです。

日本人学生は二極化？

編集部 では話を少し変えて、みなさんと共に学ぶ日本の大学生をどう思いますか。

マイケル 僕の周りの人は真面目でしたね。



陳 そう、真面目に勉強していますね。

マイケル 全体的には不真面目な人と真面目な人の二極化という感じがします。

キンキン 大きな教室の授業とゼミだと違います。ゼミに入ると真剣に勉強するけど、大きな教室の授業ではお喋りしていたり寝ていたり。たぶん私立の大きな学校だからいい加減な子も多いんじゃないかと思います。

編集部 キンキンさんは3年半で全部単位をとってしまって、一時帰国するんですね。それに比べたら日本人は真剣にやっていない感じはしますね。

キンキン そんなことはありませんよ。やっている子はやっています(笑)。でも数で言えば、だいたい人はやっていない。がんばっている子はすごいわずかだと思えます。中には簡単なマナーも守れない人がいて、がっかりすることもあります。

マイケル 頭のいい子はめちゃくちゃ頭がいい。その差が激しいですね。中には商社でこういうことをやりたいとか、日本の企業をこういうふうに変えたいとか、とても具体的

で大きな夢を持っている人もいて、感銘を受けました。そういう人と知り合えるのは励ましにもなるし、自分のやる気にもつながりますね。

編集部 そういう話を聞くと少しホッとしますね。

マイケル 面白い友達もいて、いつも競馬新聞の数字を見ていて、どの馬にかけたら一番儲かるかを研究している。そういう、何でも徹底している人は面白い

し好きですね(笑)。

キンキン 大学の友達には、就活に入った途端、茶髪を黒く戻す人がいますが、そういう人たちは面接で見極める人が上手だから、必ず落とされていますね。だから日ごろ真面目にやっている人以外はなかなか就職も決まらない。また少し前までは、サークルでがんばった人とか、自己PRが上手な人とかが有利だったりしましたが、今は違います。日ごろからしっかり勉強している人でないと、ダメという感じです。

マイケル 人事担当者は何千人も見えていますからね。

キンキン 口を開けたら全部見られるという感じですから。私の周りの日本人学生でも、普段のおこないから、就職できる子と出来ない子の区別がはっきりしています。普段から一生懸命勉強している子は3社、4社から内定が出ていますね。

編集部 そういう話を聞くと、まだまだ日本の社会も大丈夫かなと。

キンキン だから後輩たちに言うのは、将



来何をやるかを考えて、日ごろから真面目にやったほうがいいよということなんです。いざとなってやろうと思っても、面接官には見抜かれてしまうよと。

編集部 就職活動をしていて、留学生は不利だと感じたことはありますか？

キンキン それは特にないですね。

マイケル 僕はインターンシップのオンラインテストを日本語で受けたんですが、とても長くて、全部書けないし、結局落ちました。だから僕が一番心配なのは日本語かな。高専は国語とか書いたりすることはあまりなくて、ほとんど技術的なこと、計算とか実験が中心ですから。実験のレポートは見てすぐに読めますけど、小論文みたいな書き方とかには慣れていないんです。

キンキン そういう見方をすれば、留学生は不利な部分がありますね。それから面接で留学生は「いつ帰るの？」とよく聞かれます。そこを中心に聞いてくる。「帰らないというのもうそだと思うし、正直に「4～5年」というと短いので、「御社次第でがんばります」と言ったり、「私はここで長く勉

強したい」と言ったり、そういうきれいな言葉に変える。「何年間です」と、はっきり言わない方がいい。かと言って「帰らない」というのもダメ。

陳 嘘だからね（笑）。

マイケル 面白いですね。

編集部 そういうことはどこで勉強したんですか？

キンキン 先輩からなんです（笑）。やはり留学生の先輩の経

験を聞かないとダメですね。本などのマニュアルは日本人向けのものしかなくて、質問も日本人に対してのものと留学生に対してのものとは全く違って、「なぜ日本に来たのか」「日本で何を勉強したのか」「いつ帰るのか」「どういうスキルがあるか」「当社で何をしてくれるのか」。この5つが中心になっています。

それに行政面も含めて母国のことをどれだけ知っているかも試されます。作文は「志」。あなたの「志」に関して書いてくださいという問題が出ました。

マイケル 難しいですね、何を書けばいいのかわからない。

キンキン 大手企業はわざとそういうのを書かせる。そこで興味を持たれた人が次の面接に行くんです。

マイケル 日本語能力というよりは、自分の意思、考え方を聞かれるということですね。

キンキン そうですね。自分の考えを書くのですが、正しいとか間違いとかはないし、日本語もきちんと言いたいことが読み手に

伝わればいいんです。その学生がどういう性格なのか、どういう考え方を持っているのかということを知るためのテストだということ。普段何も考えないで遊んでいるような人は、いきなり「志」というタイトルを目の前に出されたら、何も書けないですよ。そんなの持ってないから（笑）。そういうことも頭に置いて練習しておいた方がいいですね。

編集部 キンキンさんが偉いと思うのは、毎日日本語で日記を書いていること。見えないところでそういう努力をしているんです。ところで、留学生のように今日お話いただいたような様々な苦勞をしていない日本の大学生はどうでしょう？

陳 マスターとドクターの学生を見ている限り、みんな真面目で大人ですね。私はドクターからですから、学部学生のことはわからないのですが。

編集部 東工大や東大の工学部で、真面目でなかったらついていけなくなってしまいますからね。

キンキン 私の大学の商学部には約1700人の学生がいますが、ゼミに入れるのは300人程度。学部生は競争が激しいからゼミに入ろうとするのはやる気のある人だけ。しかもレポートを提出して、次に面接して落ちる人もいます。でも、学部でゼミに入っているほうが就職活動で有利ですよ。私立の大きな大学は卒論を書かないで、試験だけで卒業する人も多いんです。

編集部 それでは力が付きませんね。

キンキン 最近はネットで人の論文を真似て作る人もいるので、卒論を書いている人

が、力があるとは限りませんよ。

許 マネをしているうちにオリジナルが生まれる（笑）

マイケル マネるだけじゃなくて、自分の知識として吸収しようと努力すればいいんですよね。今日の話は参考になりました。今まであまりボランティアには関わらなかったのですが、今日はキンキンさんの話を聞いて感動しました。

編集部 でもそれは神様が与えてくれるものですね。たまたま彼女が留学中に、母国にそういう災害が起こった。何もなかったら、何もやってないかもしれませんし、何か別のことをしていたかもしれません。その人の人生にそういう廻り合いがあるのは、神様の采配かも知れませんね。

キンキン でも3年生の時に起きたら多分無理。就職活動で忙しいから（笑）

陳 タイミングは大切だね（笑）。

キンキン もしミャンマーのサイクロン被害がなかったら、そのまま貯金を続けて、就職活動などしないでアメリカに留学していたと思いますね。でも私の国は何かあったら、自分たちがお互いに助け合わないといけないという状況にある国ですから。

こうした経験も含めて、日本に来て本当に良かったと思います。もちろん困ったことはありますが、それ以上に楽しいことの方が多いから、苦しいと思ったことはありません。

編集部 今日は皆さんの日本留学の経緯から就職、今後の夢までお話しいただき、ありがとうございました。

（終）

インタビュー

留学生の就活 ②

株式会社オリジネーター

取締役専務執行役員 人材開発事業部担当 やまもと とおる 山本 透氏人材開発事業部マネージャー あいば おさむ 間馬 理氏

間馬氏と山本氏

外国人材の就職サポート、人材育成事業を行う（株）オリジネーターは、一般外国人材はもちろん、東京都専修学校各種学校協会（以下、東専各）が主催する就職フェアの運営に加え、就活支援サイトであるリュウカツ・ネット（<https://www.ryugakusei.com/>）を立ち上げるなど、留学生の就職支援に積極的に取り組んでいる。

フェア開催や人材紹介業務を通して、多くの企業の採用状況にもお詳しい同社のお二人に、留学生の就活についてうかがった。

—— 留学生の就活支援事業を始められたきっかけを教えてください。

以前より当社の役員の一人がアジア各国から就学生の受入れ、そして大学・専門学校への進学支援事業にかかわっていたのですが、せっかく夢を持って来日し学んだのに、卒業後に日本で就職することができない。そういった現実を見てきて、このままではいけないということを感じ、5年前に在日外国人の転職支援と就職支援を行うこの事業部を立ち上げました。留学生については東専各が主催する「アジア人材就職・転職フェア」について4年前の1回目から共催（現在は協力）として参画しており、さらに昨年「リュウカツ・ネット」という就活支援サイトを立ち上げて本格的に留学生の就職支援を開始しました。

本年8月28日開催の9回目となる「アジア

人材就・職転職説明会」は68社のご出展と約1500人のご来場があり、外国人留学生向け就職フェアとしては過去最大級の規模になったのではないかと思います。

—— 説明会への出展企業数は毎年伸びているのでしょうか。

7回目の開催から文部科学省の委託事業となつて出展料が無料になったこともあり、出展企業数は順調に伸びています。前回は57社、今回は68社で、次回10回目は100社近くを見込んでいます。出展企業と留学生間での認知度アップによる来場者の増加から、利便性等の諸条件を鑑み、10回目は有楽町の東京国際フォーラムで行うことになりました。

2～3年前までは留学生に対する企業の採用意欲はあまり高くなく、良くて30社ほど、20社集めるのが精一杯という時代が続いていまし

た。一方で 800 ～ 1000 人ほどの留学生が来場されていましたから、非常に盛況で出展いただいた企業からは、以前より大変高い評価を頂いていました。

—— **説明会を行っていて、留学生需要の伸びというのは感じられますか。**

この 1 ～ 2 年は相当伸びています。

3 年程前までは I T 企業が留学生需要を引っ張っており、理系の人材であれば隅々までニーズがありました。しかしリーマンショック以降状況が一変。ベトナムや中国などの現地でスタッフを集めて、現地で開発する現地生産化がどんどん進んでいます。また部品やソフトウェアの共通化なども急速に図られていますので、日本における I T 系のニーズはかなり減少していました。しかし今年になって徐々に盛り返してきているところです。

一方で、小売り・サービス業などの分野が順調に伸びています。大手家電販売店が中国に出店するために留学生を大量に採用するなど、飲食業なども含めて、海外展開をしている企業や今後海外進出する企業による「留学生を採用したい」という機運が確実に高まっています。もちろん大手メーカーについては、以前から独自に留学生採用を行っていますから、新たに小売・サービス業の企業が加わって、留学生採用が一層伸びているということです。

—— **中小企業などの採用はいかがでしょう。**

中小企業の場合は、日本人で良い学生が採用できないなら、基礎的な能力の高い留学生で良い人材を、と考えている企業もあります。もちろん海外との取引があったり近い将来海外に進出する予定があったり等、母国語を含めた語学力を求めている企業もあります。

—— **出身国による人気の差はありますか。**

中国関連の仕事が多いのは確かですが中国人留学生はそれ以上にいますので、正直言って供給過多といった状況です。それよりもあまり日本に來られていない国からの留学生の方が就職には有利だと思います。大手メーカーの場合はロシア人やインド人、ブラジル人が欲しいというところが増えています。しかしご存知のように、来日しているインド人の多くはロボット工学やバイオテクノロジー分野を学んでいますし、そもそもほとんどが国費留学生で、学位取得後は帰国してそれなりの大きな仕事をしようと考えている方が多いので、もともと日本で就職する気のない人が多い。また日本の大学で学んでも英語で勉強しているケースが多く、マッチングがうまくいかないということが多々見受けられます。

—— **留学生 30 万人計画を背景に、今後留学生数はさらに増加すると思われますが、全てが高度人材というわけではなく、一般の留学生がそのほとんどだと思われます。彼らの日本就職の展望はいかがでしょう。**

何をもって高度人材というのか難しいですが、いわゆる早慶上智以上の大学に通う留学生は日本語さえきっちりできれば、就職の可能性はかなり高いと思います。逆に言えば「どうしてもこの研究室から欲しい」と言われるような理系の学生以外は、日本語によるコミュニケーション能力の高さと大学のブランドがしっかりしていないと、一部上場の手企業に就職するのは至難の業と思われます。30 万人計画の拠点大学は知名度がありますが、それ以外の大学の場合は、早期の就活開始支援等の何か違う手だてを立てないと留学生の就職率を上げるのは難しいでしょう（後半、参照）。

—— **日本語能力については具体的にどのよ**



オリジネーターが展開する留学生のための就職サイト「リュウカツ・ネット」(<http://www.ryugakusei.com/>)。登録は無料で行える

うなレベルを考えればいいでしょう。

普通に日本人と会話ができるレベル。「日本語、上手いなあ」と言われる留学生は、間違いなく良い企業に就職しています。

特に中国・韓国からの留学生はそうですが、目標とするものが日本語能力検定の1級しかありませんから、それを取得することで「これで大丈夫」と安心してしまっているように見受けられます。本来1級を取得することではなく、その先の「コミュニケーションをとれるようになること」が目的のはず。TOIECのように高いレベルを測定できる機会がない中で、留学生本人が日本語でのコミュニケーション能力を高める必要性を感じていなければ、1級のさらに上を目指そうという気持ちになれないのはいきなりということなのかもしれません。

しかし日本語でコミュニケーションできない留学生を、日本の一般企業が採用するということはほとんどあり得ません。ですから厳しい言い方ですが、留学生は現実を直視して対応策を

練っていかないと、正直言って日本での就職状況を劇的に改善するのは難しいでしょう。

例えばアメリカに1年いてそこそこ英語が理解できるようになっても、英語を使ってネイティブを相手にビジネスするとすると、普通は引き下がるか一層努力するかのどちらかです。そこそこでは押し通せません。資格という形だけでなく、ビジネス上での自分のコミュニケーション・レベルを冷静に見極めることが大切です。

ですから留学生を受け入れている学校側は、日本語1級は入口に過ぎないということを入学時にきちんと認識させるべきだと思います。

留学生がビジネスに必要なコミュニケーション能力の低さに気づくのが就職活動を開始する段階です。ビジネス日本語と言うのが別に存在するというのを、留学生は早い段階で強く意識する必要があります。まずビジネス日本語で円滑なコミュニケーションができるということが面接では非常に重要なので、学校側でその辺りの教育をすることも有効だと思います。

—— ほかにも留学生にはどのようなものが求められていますか。

ビジネス日本語でのコミュニケーション能力と共に大切なのは、相手の考え方に対する理解度の高さです。面接の中で適切なアピールをするためには、ある程度相手が考えていることを理解する必要があります。その中には良い悪いは別として、日本的な物の考え方というものも少なからず含まれるでしょう。相手の考えを理解せずにいくら一生懸命自己アピールをしても、のれんに腕押しにしかならない可能性が高い。無駄なアピールをしてしまい、良くない結果が出ることも多々あります。

言語も文化ですから、言語能力と文化理解と

は高い相関があると考えています。日本の文化に興味を持っていろいろな知識を身につけている留学生は、日本語もそれなりに上手になっているように感じています。

——では自分の能力を磨いた上で、多くのライバルに負けないようにするためにはどのような就活をすればいいのでしょうか。

日本人学生の場合も外国人留学生の場合も同じで、いくら有名大学の学生であっても自己PRが下手な学生は就職活動がうまくいきません。まずは採用担当者を惹きつける自己PR文を持つことが必要です。

リュウカツ・ネットには数千人の留学生が登録されていますが、そのほとんどの方が自己PR欄に「私は真面目です。忍耐力があります。常に努力を怠りません。だから私は仕事に一生懸命打ち込みます」と書いています。そう書くのと受けが良いという噂が流れているのではないかと思います(笑)。しかし我々が日本企業に紹介したいと思う留学生たちのPR欄にはそれとは全く異なることが書かれています。彼ら彼女らのPR文は内容が具体的で、自分のそれまでの体験を通して今後やりたいことをきちんと考え表現できています。さらに言うと、日本語力があって自己PRできる人は直接電話で企業にアプローチすることをお勧めします。

——留学生の就活についてはほかにどのような問題がありますか。

日本人学生に比べて出遅れ気味です。大学や専門学校の就職部の方ともよく話すのですが、まず留学生の意識が盛り上がるのが遅いですし、適正な情報をタイムリーに得ようとする努力が足りない傾向があります。学校側はいろいろな関連イベントを開いていますが、来場するのは留学生の半分くらいとか、その後のメール

のレスポンスが悪いとか、そういったところは留学生の足りない部分ですね。

最近は大学側も危機感を覚えている、2年次に就職に関するガイダンスをやる等対応の早期化に努めていますが、「どうしてこんなに早いのか」と疑問を持つ留学生が多いようです。どんなに出口(就職活動時)で言っても、何となくしか理解していない留学生が多いので、入口(入学時)からどのように教育していくのかということを、もっともっと考え取り組んでいかないと今の状況は改善できないでしょう。

一方、受入側である日本語教育関係者はより多くの留学生受け入れを目指すのであれば、日本語スキルチェックの仕組み自体を見直すべき時期に差し掛かっているのかもしれません。

——将来的にはどのような展望をお持ちでしょうか。

今は外国人留学生のためのフロンティア企業として、一人でも多くの留学生に日本企業でしっかり働いていただいて、留学生採用の流れを作りたくしていく段階だと思います。留学生に留まっただき、日本の企業で活躍してもらおうということが続けていけば、日本企業の留学生採用に対する抵抗感が薄れ、同時に対応力が高まります。その辺りから改善していく必要があると考えています。私たちが企業側と接点を取り持ちながら、やる気のある優秀な留学生が日本で就職をするためのお手伝いをしていきたいと考えています。

株式会社オリジネーター (Originator Co.,Ltd)
東京都品川区東五反田 5-28-1 K2ビル 4階
Tel 03-5423-0630
E-mail info@ryugakusei.com
URL <http://www.originator.co.jp/>

小木曾理事長の中国訪問記

ABK 同窓会（中国）の交流懇親会開催



8月26日（木）夜、ABK 同窓会（中国）の交流懇親会が、北京市のニューオータニ長富宮ホテルで開かれました。これは、日本語教育セミナーに出席のため北京を訪問していた ABK の小木曾理事長の呼びかけで開かれたもので、金東瀚先生〈北京大学教授、ABK 同窓会（中国）代表幹事〉はじめ、約 20 名のメンバーが参加しました。参加者は次の通り。（順不同、敬称略）

金東瀚〈北京大学教授、ABK 同窓会（中国）代表幹事〉、呉棟（北京大学教授）、同夫人、蔡世雄（医科院政協全国委員）、賈蕙萱（北

京大学教授、中日経済技術研究会副会長）、李錦雲（北京大学教授）、陳洪真（鋼鉄研究総院）、孫前進（北京物資学院副教授、中日経済技術研究会会長）、蒲小平（北京大学教授）、馬惠麗（北京市日中友好協会処長）、廬燕寧（北京市日中友好協会）、張可喜〈（社）日中科学技術文化センター首席代表〉、同夫人、張新宇（欧美学会・留日同学会秘書長）、劉文昕（中国建筑工業出版社）、潘麗（北京舞蹈学院）、同子息、李建文（教師）、高志芬（大阪経法大卒）、谷恵美子（大阪経法大卒）

会は、金先生の「小木曾さんの来訪を機



(左) 挨拶をされる金東瀚さん



会にこのような会が開かれ、普段はなかなか会えないメンバーが多数集まることできて大変嬉しい。これは日中友好のみでなく、中中友好に資するところ大である」という挨拶にはじまり、昨年12月のABK同窓会（中国）成立大会以降、早速、駐北京日本大使館より「さくらを観る会」に招かれるなど、徐々にその存在が認知されはじめているとお話がありました。小木曾理事長からは、「ABK同窓生募金」についての説明が行われ、中国同窓生への協力が要請されました。これを受けて、現在名簿に登録されている中国国内在住の約400名の会員にどのように連絡し協力を要請するか、

などについて意見が交換されました。

ABK 同窓会（中国）の今後の活動としては、近年、日中間の人物交流が、留学生、ビジネスマン、観光客など数の上では、急速に拡大し、盛んになってきているが、かつてABKの共同生活の中で、「同じ釜の飯を食って」本当に深い人間関係・友情を培ったような中身の濃い交流というものが少なくなっているように思われるので、そのような人物交流を復活させるような活動を行いたい。そのためのきっかけとして、まず北京大学で「日本の教育」を紹介するセミナーなどを計画しているとのことでした。



ちょっとした思い出



程 希平

千葉大学園芸学研究科博士課程3年

いつの間にか日本での生活がもう6年経ってしまいました。日本に来て、初めて親から離れ一人で外国に暮らしています。楽しみや苦しみを色々体験して、自分の成長と今後の発展にとって非常良い経験が持てたと思っています。

日本に来てからも学校が生活の中心となり、本当の日本社会とふれあう機会が少ないことも分かっています。しかし、研究の日々に追われ、自分の気持ちで動くのはなかなか難しいという状況ですが。我々中国の留学生はみんな中国と日本の良い関係を築くため、やれることなら一所懸命やり遂げたいという気持ちでいっぱいです。しかし、先日来の領土の問題で日中間の緊迫した関係には僕もすごく関心を持ちました。両国間ではやく解決していただきたいです。この思いを胸の中でいだきながら、二年前のことを思い出しました。中国四川省の大地震の時のことです。2008年5月12日に中国四川省で発生した四川大地震は世間のことに無頓着である私も大きく心を動かされました。日本での募金などの活動に参加し、日本の皆さんが我々に大きいな勇気と支援をくださいました。中でも地震の直後、日本の救援隊が一番に被災地入りした救援隊だったことに私はとても感動しました。彼らの活躍によって四川の被災地の人々は勇気と団結の気持ちをいただくことができたと思います。

その後、日本の救援隊の皆さんが帰国することを聞き、成田空港に行き、ぜひ出迎えたいという気持ちがますます高まってきました。出迎えの当日、自分の泣き崩れそうな気持ちを抑えて空港で彼ら（我々の英雄）の現れるのを静かに待っていました。救援隊の乗っていた便が到着したようで、我々も自発的に列を作って、手に日本と中国の国旗や「中日友好」、「ありがとう」などを書いた横断幕を広げました。ついに彼

らが目の前にあらわれました、少し疲れたような顔に優しい微笑みが浮かんでいました。我々は花束を救援隊の皆さんにささげ、そして、私は握手を求めました。大きい手で私の手を包み、「ありがとう」と私に言いました。緊張と感動の気持ちを抑えきれず迎える人々の群に逃げ込んでいました。そして、一所懸命国旗と横断幕を揺り動かしながら、隊員たちの顔を見て「お疲れ様でした。ありがとうございます。」と声が届くように周りの人達を気にせず、臆せず叫び続けました。隊員たちも「ありがとう」とうなずいてくださいました。それを見るとますます感情をコントロールできなくなり、涙も止まらず、声が哽れるまで救援隊の皆さんに感謝の気持ちを伝えました。その後、隊員がいなくなるとNHKや朝日新聞の記者たちが泣き崩れる私にインタビューをしました。その時にも、「ありがとう」としか言えなかった。こういう感動は深く心の中に刻まれ忘れはしないと思います。

中国のことわざには『危難之中見真情』があります、これは「困った時に本心が見える」ということで、中国が最も困難な時に、日本の救援隊は援助の手を差し延べてくれました。この援助は人道主義に基づくものであり、日本国民の中国人に対する深い友情であり、日中友好の歴史に残ることは間違いありません。また、中国人は愛と憎しみがはっきりしている民族であり、恩を決して忘れない民族でもあります。中国人はずっと『滴水之恩，当涌泉相报』、すなわち、「一滴の水の恩も、湧き出る泉のように恩を返す」という美德を伝えてきました。救援隊の皆さんが尽くした努力や苦勞などを中国の国民は決して忘れません。

最近の騒ぎになった事件で、両国民までも巻き込まれました。一部の人が過激な言行に至ることも理解できますが、四川大地震の救援の貴重なエピソードを繰り返して考えることで、文化、学術の交流やビジネス、貿易の増進などを長期的に展望して、共にアジアにある重要な国である以上、日中両国間での友好関係はこれからも永遠に続いていただきたいとの思いは今が最も強いです。きっと僕と同じ思いを持つ人が大勢いることを信じています。

(2010.10.5 記 財団法人神林留学生奨学会奨学生)

News & Event

留学生トークプラザ（神奈川）

留学生は日頃何を思いどんな生活を送っているのでしょうか。近隣の大学に通う留学生達に、日本の印象や日々の生活実態、将来の夢などを日本語で発表していただきます。その後、日本語での意見交換、質疑などの時間を用意しています。日本にとっても貴重な次代をになう留学生の日頃の思いを聞く大変良い機会です。皆様、どうぞお気軽にご参加ください。

- ・日時：11月7日（日） 14：00～17：00
- ・場所：町田市立中央図書館6階ホール
- ・定員：60名
- ・申込み：住所、氏名、参加人数と電話番号を明記して、「はがき」または FAX で町田国際交流センター「留学生トークプラザ」係までお申込ください。
- ・主催／宛先：〒194-0013 町田市原町田 4-9-8 町田市民フォーラム4F 町田国際交流センター ☎042-722-4260 e-mail: info@machida-kokusai.jp

第3回 リトル・インドネシア・イン・ジャパン 2010（東京）

今年で3回目を迎えるインドネシア共和国大使館主催の展示会「リトル・インドネシア・イン・ジャパン」が開催されます。インドネシアの代表的な製品が数多く展示されます。

会 期： 2010 年 11 月 23 日（火）～25 日（木）

料 金： 無料

展示品： バティック衣料、ハンディクラフト、ジュエリー、食品など

会 場： 日本アセアンセンター・アセアンホール

〒105-0004 東京都港区新橋 6-17-19 新御成門ビル 1 階

☎03-5402-8001 www.asean.or.jp

連絡先：インドネシア共和国大使館 商務部

☎03-3441-4201（内線 322） Email shoumubu@mail.kbri.jp

ASEAN MOVIE NIGHT（アセアン・ムービーナイト）（東京）

日 程：10/27（水） 18：30～20：30 ミャンマー映画 「モージョ・ダゴンー謎の塑像ー」

10/28（木） 18：30～20：10 ベトナム映画 「きのう、平和の夢を見た」

【特別上映作品】10/28（木） 15：00～17：10 インドネシア映画 「虹の兵士たち」

※ こちらの作品については、音声：インドネシア語、字幕：英語、のみでの上映となります。

日本語字幕はありませんので、ご注意ください。

会 場：日本アセアンセンター・アセアンホール（東京都港区新橋6-17-19 新御成門ビル 1 階
都営地下鉄三田線 御成門駅 A4 出口より徒歩 1 分）

主催・お問い合わせ先： 日本アセアンセンター ☎ 03-5402-8001

母なるメコン写真展（横浜）

メコンを象徴する水上マーケット、真っ赤に燃える太陽が沈む優しくゆったりとした時間、無邪気に遊ぶ子供たち…。河口から源流までを遡って旅をした写真家、鎌澤久也の写真約 100 点を展示。「母なる大河」と親しまれ、人々を見守り包み込んでいるこの河の魅力を、是非ご覧ください。

日 時： 11月28日（日）まで 10:00～17:00 ※ 祝日除く月曜休み

場 所： かながわ国際交流財団 あーすぶらざ 3 階企画展示室
（横浜市栄区小菅ヶ谷 1-2-1 JR 根岸線「本郷台駅」下車）

入 場： 無 料

問合せ： かながわ国際交流財団 地球市民学習課 ☎ 045-896-2899

★鎌澤久也ギャラリートーク

写真家、鎌澤久也さんをお招きし、メコン河の源流を求めて旅する中で出会った人々とのエピソードや、その地域の文化、生活、環境問題などを画像を交えてお話いただきます。

日 時： 11月14日（日）14:00～15:30

場 所： かながわ国際交流財団 あーすぶらざ 5 階映像ホール

参加費： 無料

定 員： 先着 40 名（要申込）

申込み： ☎ 045-896-2899 E-mail gakushu@k-i-a.or.jp

国際交流会館オープンデイ 2010（京都）

世界の音楽やダンスのステージ、世界の文化や遊び体験、京都在住の外国人とのおしゃべりが楽しめる日本語 cafe などイベントが盛りだくさん。2F 特別会議室では、留学生・就学生の生活支援のため、登録ボランティアが開催するフリーマーケットが開催されます。

会 期： 11月3日（祝・日）11:00～16:00

会 場： 京都市国際交流会館 kokoka（左京区栗田口鳥居町 2 番地の 1 地下鉄東西線「蹴上」駅徒歩約 6 分）

連絡先： 財団法人 京都市国際交流協会

〒606-8536 京都市左京区栗田口鳥居町 2 番地の 1

TEL：075-752-3010（代表）FAX：075-752-3510



<奨学金などの日本留学に関する情報は JPSS で！ <http://www.jpss.jp/>>

しょうがくきんじょうほう 奨学金情報

■伊藤国際教育交流財団 外国人奨学金

対象：①外国人留学生で、日本国の大学等の修士課程（またはそれに準ずる課程）に正規生として入学を予定している方で、成績人格ともに優秀で、経済的援助を必要としている方。なお、専攻分野は問いません。②2011年4月に大学院修士課程に入学する方。または2010年秋学期に入学した方。（秋入学の方の奨学金支給は2011年の4月～修士課程修了までです。）③2011年の2月～3月中に行われる面接選考を受けられること。④当財団の奨学生として採用決定後、ガイダンスに参加できること。⑤2011年の4月1日現在において、年齢が29歳以下の者が望ましい（30歳以上で応募する方は「進学が遅れた理由」をご提出いただきます）。⑥「留学」の資格で日本に滞在しているか、または「留学」の在留資格が取得できる予定の方。⑦日本語が出来ること。

給付金額：月額18万円

給付期間：2年以内

採用人数：10名

募集期間：10月1日（金）～11月25日（木）

願書請求・連絡先：〒160-0023 東京都新宿区西新宿 3-8-4 BABA ビル5F

☎ 03-3299-7872

URL <http://www.itofound.or.jp/>

■高久国際奨学財団

対象：①外国の国籍を有し在留資格「留学」の学生。②2011年4月時点で日本の大学院修士課程在籍（学部生、修士課程不可）③本奨学生となった場合、他の奨学金・助成金等を受けていないこと。④東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県在住の学生。⑤日本語能力試験1級に準ずる会話力及び文章力を有する学生。⑥健康であること。⑦国際理解と親善に関心を持ち、貢献を意図する学生。⑧月例会に必ず出席できる学生。⑨月末に400字のレポートを必ず提出できる学生。

給付金額：月額7万円

給付期間：2011年4月から1年間

新規採用：6名

応募：申込書（ホームページからダウンロード可）と必要書類を団体に提出。

ほしゅうきかん

募集期間：11月1日～30日

じっしだんたい どうきょうとみなとくにしあぶ たく こく
実施団体：東京都港区西麻布 4-17-4 高久国さいしやうがくざいだん
際奨学財団

E-mail info@takaku-foundation.com

URL http://www.takaku-foundation.com/

とうきやういくぶんかこうりゅうざいだん

■東華教育文化交流財団

たいしやう げんざい にほん だいがく がく
対象：2011年4月1日現在、日本の大学（学
ぶ ねんせい だいがくいん ざい にゅう がく
部3・4年生）もしくは大学院に在（入）学す
る私費中国人留学生（台湾、香港、マカオ出
しんしゃ ぶく りゅうがくせいかつじょういだいできえんじょ ひつよう
身者を含む）で、留学生生活上経済的援助を必要
とすると認められ、学力優秀で身体健康な者。

きゅうふきんがく げつがく
給付金額（月額）：8万円きゅうふきかん
給付期間：2011年4月から1年以内おうほきかん
応募期間：11月1日～30日しんきざいよう めい
新規採用：10名おうほほう じゅざいだんたい おうほしやうい ゆうそう
応募方法：主催団体まで応募書類を郵送ほしゅうようこう もうしこみしや か き さんしやう
募集要項・申込書は下記ホームページを参照

しゅざいしやれんらくきき どうきやうとしぶやくとみがや ばん
主催者連絡先：東京都中央区銀座八丁目2番
12号 公益財団法人東華教育文化交流財団

☎ 03-3571-7613

E-mail info@donghua.or.jp

URL http://www.donghua.or.jp

ほんじやうこくさいしやうがくざいだん

■本庄国際奨学財団

たいしやう
対象：① 2011年4月1日以降に日本国内
の大学院に留学している外国人留学生。②日本
の大学院に留学する日本国籍を持たない学生の
うち、学業、人物ともに優れながら経済的理由
により援助が必要と認められる者。③ 2011
年4月以降に在籍しているまたは入学が許可さ
れており、在籍証明書、合格証明書、入学許可
書等、入学の内定を証明できる書類のいずれか

ていしゅつ もの はかせがていざいせきしや
を提出できる者。④博士課程在籍者は、1975
年3月31日以降に生まれた者、修士課程在
籍者は1980年3月31日以降に生まれた
もの。⑤大学院卒業後は、母国において勤務する
ことを確約できる者。⑥国際親善に理解をもち、
貢献を期する者。⑦日本語の日常会話ができる
もの。面接は日本語で行います。

きゅうふきんがく げつがく まんえん ねんかん ねん
給付金額：（1）月額20万円を1年間～2年
間（2）月額18万円を3年間（3）月額
15万円を4～5年間（いずれも最終目標と
する学位取得までの最短期間とし、本人が選択
できる。各コースにおいて支給が終了したあと
の延長、または支給開始後のコースの変更はで
きない。）

きゅうふきかん
給付期間：2011年4月から1年間しんきざいよう めい
新規採用：15～20名おうほ
応募：下記ホームページを参照ほしゅうきかん
募集期間：11月1日～30日じっしだんたい どうきやうとしぶやくとみがや
実施団体：東京都渋谷区富ヶ谷 1-14-9

☎ (03) 3468-2214

E-mail info@hisf.or.jp

URL http://www.hisf.or.jp/scholarship/
index.html

イベント情報

りゅうがくせい 留学生のための しゅうしょく 就職ゼミナール しゅうしょくこうぎ 「就職講座」 じっせんへん 実践編

ないよう 内容・● ● か かたこうご エントリーシートの書き方講座 ● こべつもぎめんせつ 個別模擬面接 ● せんはいりゅうがくせい しゅうしよくそうだんかい 先輩留学生による就職相談会

●就職相談コーナー

- ・日時：2010年11月7日（土）13：00～17：00
- ・対象：たいしやう留学生 ていいん・せんちやく定員：先着50名 もうしこみさき・もうしこみ申込先：☎ 045-507-0318
- ・主催／しゆい問合せ先：横浜市国際学生会館（担当：渋谷）
- よこはましつるみくほんちようどおり横浜市鶴見区本町通4-171-23 かよう火曜～きんよう金曜9:00～21:00 と・にち・しゆ土・日・祝9:00～17:00

がいこくじん
にほんご
たいかい
外国人による日本語スピーチ大会

あなたの夢や家族のこと、誰かへ伝える感謝のメッセージなど日本語でスピーチしませんか？日本語はうまくなくていいです。ボランティアがあなたを手伝います。

- ・日時：2011年2月26(土) 12:00～16:30
- ・場所：武蔵野スイングホール2F (JR中央線「武蔵境」駅 徒歩約2分)
- ・申込：2011年1月14日までに電話かファックスで申込
- ・主催／問合せ先：武蔵野市国際交流協会 ☎0422-36-4511 FAX 0422-36-4513

E-mail: mia@coral.ocn.ne.jp HP : <http://www.mia.gr.jp/index.html>

留学生専用就職ガイドンス

にほん しゅうかつ さいりゅうしかく おうぼしよるい つく かた せんばい
日本での就活と在留資格&応募書類の作り方と先輩からのアドバイス

A. 在留資格の^{ざいりゅうしかく}変更^{へんこう}と日本^{にほん}での就活^{しゅうかつほうほう}方法

(内容) 就職に伴う留学生の在留資格、変更申請に必要な書類、留学生の就職状況、日本における就職活動の方法

- ・日時：① 11月17日（水） ② 12月15日（水） 14:00～16:00

B. 応募書類の作り方と先輩留学生による就活アドバイス

(内容) 自己分析の方法、履歴書の書き方、職務経歴書の書き方、添え状の書き方、就職活動体験談

- ・日時：① 11月24日（水） ② 12月22日（水） 14:00～16:00

★主催・申込・場所（A、B 共通）：大阪外国人雇用サービスセンター（大阪市北区梅田 1-2-2 大
阪駅前第2ビル 15F） ☎ 06-6344-1135

祝 報

インドの Prof. Dr. Savitri Vishwanathan 2010 年度国際交流基金賞（日本語部門）受賞

インドの元 ABK 在館留学生（1966 ～ 1968）の Savitri Vishwanathan さん（元デリー大学教授）が、日本語部門の 2010 年度国際交流基金賞を受賞されました。おめでとうございます。

授賞式は、10 月 25 日。受賞者記念講演会は、10 月 29 日（要申込）。この賞は 1973 年度からはじまり、学術・芸術など文化活動を通じて日本と海外の相互理解の促進に顕著な貢献のあった個人または団体に対し国際交流基金より授与されるものです。



MEMBERS

〈ご入会とご寄付の報告〉

2010 年 8 月

特別会員

（1 口）

小峰工業（株） 北葛飾郡
（株）シーボン 港区

正会員

田原 晶子 鹿児島市
三本 龍生 江戸川区
川上 剛 タイ
山田 裕子 三鷹市
永井 マス子 川崎市
楊 青雲 江戸川区
堀内 智代子 国分寺市
豊島 由久 所沢市

小倉 美恵子
対馬 節子
豊島 正大
藤原 一枝
竹田 繁

ご寄付

小林 今朝夫／優子 八王子市
岡崎 道子 池田市
山田 裕子 三鷹市
栗原 静子 気仙沼市

2010 年 9 月

特別会員

（5 口）
（株）スリーエーネットワーク 千代田区

川崎市
品川区
横浜市
武蔵野市
南陽市

（財）海外技術者研修協会 足立区

正会員

（1 口）

新谷 美紀子／美也子 市川市
佐藤 玲 文京区
奥山 節子 西村山郡
今泉 雅勝 墨田区
山口 誠 吾妻郡
飯沼 英郎 鎌倉市
松崎 利夫 小浜市
寺尾 方孝／三枝子 国分寺市
中根 義郎 岡崎市
鶴田 純一／由美 千葉市
稲澤 宏一 新宿区

ご寄付

栗原 静子 気仙沼市
宅間 董 川崎市

＊前号（486 号）で誤りがありました。お詫びして次の通り訂正いたします。

P10 東京外国人雇用サービスセンターのところ ＜誤＞ 専門援助代三部門 → ＜正＞ 専門援助第三部門

P29 MEMBERS のところ 左段 ＜誤＞ 賛助会員（株）アイデント → ＜正＞ 特別会員（株）アイデント

右段 ＜誤＞ ご寄付 大杉 立 → ＜正＞ 正会員 大杉立



ご報告

A B K 同窓生募金 (2010 年 9 月 30 日現在)

ご協力ありがとうございました。募金のご報告は『アジアの友』並びに同窓会ホームページで随時ご報告させていただきます。

●目標額：5,000万円

●募金額：7,320,096円

●寄付者数：122件

〈 〉内は出身国・地域、ABC 順。日本のみ五十音順

〈バングラデシュ〉 ISLAM MD. NURUL

〈中国〉 全浩

〈香港〉 Mr.&Mrs.YEUNG KING HONG 楊経航・蔡金燕 (マレーシア)

〈インド〉 Abul Sharah,

〈インドネシア〉 Budhi Setiawan Kohar

〈日本〉 新井重光、植田泰史、大久保伸枝、小木曾友、川上剛、北川泰弘、工藤正司、久保哲也、栗原静子、小林泰子、清水勇治・泰代、高野靖子、田川明子、田中美智子、田守智恵子、鶴尾能子、鵜田純一・由美、外山経子、中曽根信、西本梶、樋川好美、平井まりこ、藤原一枝、吉田直子

〈マレーシア〉 CHANG CHEW CHIN 張昭成、CHEW CHONG SENG 周昌盛、CHIA LI TECK 謝礼得、CHONG TECK FOO 張德福、EE LEY TIONG 余励忠、FOO MING LIAN 符明蓮、FOO SIANG SENG 符祥盛、FOO SOO KONG 符素光、HEONG SEE YONG 香世運、KENNETH WONG 黃復翔、LEE KIAN LING 李建霖、LEE MIOW YING 李妙英、LEONG KEE HUO 梁其和、LIEW TECK BOON 劉德文、LIM SIN YEAN 林欣燕、LOKE HON YEE 陸漢宇、LOW KIM LEE 劉金莉、NG TIAN ENG 黃殿英、ONG CHENG CHUAN 王清川、ONG CHOOI LEE 王翠莉、PANG CHOON BOON 彭俊文、POH SIEW HUI 傅秀慧、SIM KEE HONG 沈其豐、SOO SECK HENG 蘇錫興、SU KUI SHENG 蘇桂昇、TAN KEE HANG 陳繼漢、TAN SOO SIN 陳素芯、TANG ENG HUAT 陳永發、TENG KIM YIN 鄧錦雲、TEO KWEE SWEE 張貴水、WONG FEE PING 黃慧萍、WONG SENG KENG 黃成耕、WONG TZONG CHYANG 黃宗強

〈ペルー〉 Olga Shimada Keiko

〈タイ〉 Meena Thamchaipenet、Mr.&Mrs.Phiphat Chaichanavichakij、Patamavadee (Bongsayan)Narushiso、Prayoon Shiowatana、Sivaporn Sirilatthayakorn、Suvit Vibulsresth、Virat Thiravathanavong

〈ベトナム〉 To Buu Luong、Dao Thi Minh、Le Quynh Chi

(以上、73 件)

2010 年 7 月 31 日以前の寄付者

〈カンボディア〉 忍足林基 / 美恵子 (Mrs. 日本.)

〈中国〉 Meng Xiao Xiao、Zhou Xiang

〈インド〉 Ashok Saraf

〈日本〉 浅見博子、石井信彦、小木曾建、工藤幹雄、金野隆光、高木桂子、高橋喜久江、
高橋作太郎、田口昌子、竹林惟允、堤祐子、外山経子、西原彰一、平岡明子、細川哲士、
堀内智代子、堀幸夫、松岡弘、柳瀬修三、六文会、匿名希望 (2 名)

〈マレーシア〉 Ang Wan Leng、Beh Teck Chuan、Lee Tee Boon、Seah Boon
Chieng、Soon Sai Kheng、Tan Cheet Yong、Tan Wee Pin、Tan Wee Seng、
Toh Leong Chee

〈シンガポール〉 Foo Choo Wei

〈台湾〉 Liu Li Mei

〈タイ〉 Krisada Visavateeranon、Pilaipan Mekaratana、Saowanee Patrakarn、
Suchittra Hunbunchakit、Supong Chayutsahakij、Tana Tangtrongsakdi、泰日
経済技術振興協会 (TPA)、Wiwut Tanthapanichakoon

(以上、49 件)

募金に関するメール

* 氏名 (在住国・地域) <メールの日付>

6/13 全 浩 (中国、北京大学)

ABK 理事長小木曾友先生、私は、「ABK 同窓
会募金」に賛同、支持いたします。I quite
agree with your "ABK Alumni Fund". I have
got a very good suggestion in deed.

7/14、7/16 Leong Chee Toh (マレー
シア)

Hi Siraishi-san, Ogenki desuka. This is Toh.
It's been a while since we last met at ABK,
hope all is well with you and family. I heard
from my friend a bit about the ABK Alumni

Fund, can you send me more details about
it? Thanks. Best Regards,

小木曾様 ご無沙汰しております。ABK 同
窓会募金の情報ありがとうございます。すで
にクレジットカード決済による送金をしまし
た。小さい金額ですが、少しでも役に立てれ
ば、と思っています。募金の目標が達成でき
るように！ Best Regards,

7/18 Suvit Vibulsresth (タイ、元 TPA
会長)

I am very pleased to learn that ABK is
campaigning for ABK -alumni to contribute

to ABK Fund for Japanese language school. Thank you very much for giving us the opportunity to contribute our meagre effort to the good cause of ABK. I will either come to ABK in person if I come to Japan this year or remit by credit card. Best regards,

8/5 小林泰子 (日本)

日本語コース開講時を懐かしく思い起こしました。ますますのご発展をお祈りいたします。

8/11 栗原静子 (日本)

些少ですが「ABK 同窓会募金」に協力させていただきます。3ヶ月間不在の為遅くなりすみません。

8/11、8/16 ト・ブー・ルーン (ベトナム)

「ABK 同窓会募金」のお呼びかけに応じて、本日ダオ・チ・ミンとト・ブー・ルーンの名義でそれぞれ寄付させていただきました。貧者の一灯として学校法人の運営に少しでもお役に立つことができれば幸せです。なお募金目標が早期達成して所定の目的が叶うようにお祈りいたします。

小木曾様 わざわざご返事いただきありがとうございます。穂積先生は言うまでもなく、小木曾さんをはじめ、工藤さんなどに感謝の気持ちでいっぱいいつまでも忘れられません。皆さんの人生から学ぶことが沢山あり、自分たちの至らないところをいつも反省しながら行動しております。本当にありがとうございました。

8/11 Meena Thamchaipenet (タイ)

Dear Ogiso san and ABK staff, Sorry for late response, and thank you very much for your

o-shirase about the campaign. I would like to take part in ABK Alumni Fund and just processed a payment through credit card via internet. The details are down below.

Please allow me to take this opportunity to wish ABK and the staff all the best. I do hope ABK including its Japanese language school can maintain its prestigious position for long as to provide a firm ground for mutual understanding and exchange among nations and cultures. With best regards,

8/19 鶴尾能子 (日本)

『アジアの友 485 号』拝読；小木曾様『アジアの友 485 号』の記事をしみじみ拝読。皆様のご苦勞を思い、ささやかながら「ABK 同窓会募金」にと、「みずほ」から振り込みました。小木曾さんも、まだまだ倒れるわけにいきませんね。どうか、健康状態に気を配りながら、当分（かなり先まで）頑張ってください。これは、世紀の大事業ですから。

8/26 Prayoon Shiowatana (タイ、前 TPA 会長)

布施様、昨夜、バンコクに戻りました。ABK の募金活動にかんして、「かつ吉」で、相談しました件、次の様にお願い致します。1. 小木曾様のタイ行きをできるだけ早めに教えて下さい。他の関係者との連絡等が必要です。また、私の個人の願いですが、私が、9月10－20日まで海外に行きます、できればその期間を避けてください。2. 最新の正確の情報を下さい。以上、宜しくお願いします。

8/26 Phiphat Chaichanavichkij (タイ)

Dear Mr. Ogiso Yu, I'm pleased to advise that I have today remitted my donation

to Asian Students Cultural Association's Account at Mizuho Bank, Hongo Branch, as my contribution to the ABK Alumni Fund. I would appreciate it if you could check with the bank and confirm receipt of the fund in good order. Best regards,

9/10 田中美智子（日本）

現在は購読会員ですが、在日中交流していたタイやマレーシアの留学生が ABK でお世話になりましたので父兄のつもりです。

9/10 橋本イスラムヌルール（バングラデシュ）

（私が協力を求めた方から） <http://www.abk.or.jp/abkd/fund/index.html> ページの募金内容の第⑤項の募金対象の文面について下記のようなコメントがありました。ご参考まで送りいたしますのでご検討してください。

□現行

⑤募金対象 ABK と兄弟寮に居住したことのある各国（在日を含む）留学生・技術研修生・日本人学生の OB/OG（約 1,000 人）及び ABK 日本語コースの卒業生（約 4,000 人）、並びに ASCA の日本人職員・会員等（約 1,000 人）

■修正案

⑤募金対象 ABK と兄弟寮に居住したことのある各国（在日を含む）留学生・技術研修生・日本人学生の OB/OG（約 1,000 人）及び ABK 日本語コースの卒業生（約 4,000 人）、並びに ASCA の日本人職員・会員等（約 1,000 人）、並びに本募金趣旨に賛同されるすべてのみなさま。

紹介しました会社の社長からのコメントです。

PS：電話でお話ししたとおり、現行のままでは、ABK（アジア文化会館）出身者のみが募

金対象です。そこに第 3 者が、募金するとは思えません。第 3 者が、募金しやすくするには、修正案のとおり、文言を追加した方がいいと思います。今後ともよろしくお願い致します。

9/13 中曽根信（日本）

事業の達成を心から応援しております。

9/13 Sucharit K. and Noi（タイ）

Dear Mr. Ogiso, We had got information from A. Prayoon about ABK school already. Hope that you are fine. Yesterday, TNI had her first graduation ceremony. Bye.

9/13 チャンタソンインタヴォン（ラオス）

ABK 同窓生募金の趣旨を見損ねましたので、その募金の趣旨は何でしょうか？ 趣旨などが有りましたら、お知らせ下さいませ。

9/15 Tran Thanh Viet & Toyo（ベトナム）

* Dear Mr.Ogiso Yu, Thank you for giving us this opportunity and we are very happy to join "ABK Alumni Fund". We will ask my friend in Japan to deposit to Fund account as soon as we can. With Best Regards

* Dear Ogiso san, May I share your invitation about "ABK Alumni Fund" to all our Vietnamese Ex-Ryugakusei ? I can share it by mail through our E-groups and post it on our Web Site. Please let make know.

9/17 樋川好美（日本）

目標達成することを心よりお祈りしております！

9/19 賈蕙萱（中国 北京大学）

小木曾友理事長 家が引っ越しのため、3週間、メールを全然使うことができませんでした。よって、御返事が遅くなったこと、申し訳ございませんでした。ABK 同窓生募金、より深い人間関係を目指す人物交流プロジェクトなど、良く分かりました。曹其鏞先生に学んで、もうすでに宣伝が始まりして、多くないですけども自分と娘、娘婿も参加するつもりです。

9/20 西本梶（日本）

布施様 御元気ですか？今年の夏は恐ろしい暑さだったので 秋になると御疲れが出るかもしれませんね。私は元気にしております。さて、以前から気にしておりました50周年記念事業への協力をさせていただきます。私は同窓生でもないし会員でもありませんので名もなき草の根としての協力となります。本当に少額で恥ずかしいのですがおさめ下さい。虎の子のお小遣いが株安、ドル安で悲鳴を上げております。民主党の若き獅子たちよがんばって下さい！今年のお寺参りは暑いので10月に入ってからにしようと思います。Kさんが亡くなってちょうど10年になります。又、お声をかけますのでもし時間がありましたら御一緒にして下さい。

9/21 田川明子（日本）

ABK 同窓生ではありませんが協力させていただきます。

9/22 CHANG Chew Chin（マレーシア）

小木曾理事長 ご無沙汰しています。1期生のCHANG CHEW CHINです。金曜日に集めた寄付金を協会に送金しました。寄付した32名の留学生のリストを添付致します。よ

ろしくお願い致します。

9/28 清水勇治（日本）

小木曾さん この1週間で一気に涼しくなりました。なんと大変な夏が終わります。お元気でお過ごしでしょうか。私たちは11/2からドイツのヘンさんのところを訪ねることにし、ヘンさんからOKをもらいました。既に気温が下がっているようなので寒いと思われます。そして、ベルギー廻りでパリのゆきえと合同します。オータン（元ABK職員小倉さんの居住地）は素晴らしいところと伺っていますので、お寄りできればと思うのですが…。今回は、南仏まで行ってみたいと思っています。11 / 27 同窓生募金の銀行口座に振り込みました。よろしくお願いします。

9/30 梁 志瞬（香港）

あまり力になれませんが、お役に立てると嬉しいです。校舎が建替えできれば良いな。

9/30 王 穩（中国）

工藤様 本当にご無沙汰しております。ご活躍されているご様子、何よりです。募金に大賛同させていただきます。小額ながら、寄付もさせていただきます。日本留学中、工藤様をはじめ多くの日本人のかたがたにお世話になっておりますので、微力ながら、ぜひお力添えさせていただければと思います。また、小生は、基本的に月一回日本に一週間ほど滞在しますので、今度10月25日の週に東京滞在となります。もしお時間がありましたら、ぜひ久しぶりにお目にかかれと思います。ご連絡、大変うれしく思います。

ご入会とご寄付のお願い

当協会は、政府の補助金を受けていない純民間運営の公益法人ですので、財源に限りがあり、皆様方からお送りいただく会費、寄付金は、本協会の活動を支える貴重な財源となっています。何卒ご理解、ご協力をお願い致します。

協会のあらまし

名 称：財団法人アジア学生文化協会
ASIAN STUDENTS CULTURAL ASSOCIATION
(ASCA)
所在地：東京都文京区本駒込2丁目12番地13号
代表者：理事長 小木曾 友
設 立：1957年（昭和32年）9月18日
故穂積五一氏創設

目 的：日本とアジア諸国の青年学生が共同生活を通じて、人間的統合と学術、文化および経済の交流をはかることにより、アジアの親善と世界の平和に貢献することを目的とする。

◆主な事業◆

- (1) 留学生宿舍の運営
- (2) 留学生日本語コースの運営（進学希望者向けの日本語を中心とする教育）
- (3) 留学生に対する情報提供支援
- (4) アジア語学セミナー
- (5) 帰国留学生のアジア文化会館同窓会、(社)・タイ経済協力協会、ABK留学生友の会との連携・協力

◆会費（年額）◆

正会員 1口 1万円
賛助会員 1口 5万円
特別会員 1口 10万円

会員には広報誌「アジアの友」が無料配布されます。また、広報誌購入だけを希望される方には、購読料年間3千円（学生2千円）でお送りしています。

本誌で広告してみませんか。

団体・企業を問わず、編集部へご相談ください。

日本留学生活に必要な最新のニュースを毎月届けます！

ABK 留学生メールニュース

ビザ手続き関連情報

医療・保険情報

就職アルバイト情報

イベント情報

各種試験情報

奨学金情報

外国人相談情報 他

登録は WEB から <http://www.jpss.jp>

後 記

今号の座談会に登場の留学生は、全員ABK在館生。たまたまこの座談会の日に都合のついた学生だ。本当にさまざまな日本留学があるのだと改めて思う。とくにアジアからの留学生は、今でも奨学金の有無は最終決定要因だ。困難も困難と感じなくなる前向きな姿勢で乗り越え、いろいろな出会いがあって育まれ、夢をふくらませています。同じ屋根の下で生活していても、お互いのことを知っているとは言えない。今回、座談会を終え皆さん、お互いの話を聞けて、とても勉強になった、参考になった、そして楽しかったと。(F)

尖閣諸島問題で日中間がギクシャクしているが、この問題を留学生はどう考えているのかと思っていたところ、程さんの文章を読んだ。彼のように日中交流のために何かしたいと思っている中国からの留学生は少なくないと思っている。(F)

アジアの友 2010年10-11月号

2010年10月20日発行（通刊第487号）

年間購読（送料共）3,000円（学生2,000円） 1部 500円（税込）

発行人 小木曾 友
編集 友編集部
発行所 財団法人 アジア学生文化協会
東京都文京区本駒込2-12-13 (☎113-8642)
電話番号 : 03-3946-7565/4121 ファクシミリ : 03-3946-7599
振替口座 : 00150-0-56754 E-mail : tomo@abk.or.jp
ホームページ : (<http://www.abk.or.jp/>)

published by ASIAN STUDENTS CULTURAL ASSOCIATION
(ASIA BUNKA KAIKAN)
2-12-13, Honkomagome, Bunkyo-ku, Tokyo, 113-8642, JAPAN
☎+81-3-3946-7565/4121 ☎+81-3-3946-7599
Email : tomo@abk.or.jp
Home Page : <http://www.abk.or.jp/>

「アジアの友」の購読会員（年3,000円・学生2,000）にご入会下さい。振替用紙又は電話等にて。

「ABK 同窓生募金」へのご協力をお願い

(財) アジア学生文化協会では、現在、下記の通り、「ABK 同窓生募金」を行っています。これまで長年にわたって ABK と縁を結んだ方々皆様（留学生 OB・OG をはじめ、日本人関係者）にご協力をお願いしています。なお、ご寄付して下さった方々は、そのお名前を、金額の多寡にかかわらず、記念銘板に刻印し、長く保存させていただく考えております。また、高額寄付者への顕彰を別途用意いたします。世界的な不況の折、誠に心苦しい限りですが、何卒、ご理解とご協力を下さいますようお願い申し上げます。

財団法人アジア学生文化協会（ASCA）

理事長 小木曾 友

募金内容

- | | |
|---------|---|
| 1. 名 称 | 同窓生募金 |
| 2. 目標額 | 50,000,000 円（伍仟萬円也） |
| 3. 寄付金額 | 一口 10,000 円 <一口未満でもお受けします。但し、一口未満の時は 1000 円以上をお願いします> |
| 4. 使 途 | ABK が設立する学校法人の「運営資金」に当てる（注）
（注）学校設立には、校舎建設資金（約 5 億円）のほかに、教育の健全性を保証するために「運営資金」（約 5,000 万円）を所有することが必要です。募金はそのためのものとします。 |
| 5. 募金対象 | ABK と兄弟寮に居住したことのある各国（在日を含む）留学生・技術研修生・日本人学生の OB/OG（約 1,000 人）、ABK 日本語コースの卒業生（約 4,000 人）、及び ASCA の日本人職員・会員等（約 1,000 人）、並びに本募金趣旨に賛同されるすべての皆様 |
| 6. 期 間 | 2010 年 4 月 1 日から 2 年間 |
| 7. 送金方法 | 次の 1)、2)、3) のいずれかの方法で、ご送金下さい。 |

1) クレジットカード決済による送金（下記ウェブサイトで手続きできます）

寄付のお申し込み <http://www.abk.or.jp/abkd/fund/fund.html>

*セキュリティ上の必要から、1 回の送金は上限 300,000 円（参拾万円也）をお願いします。

2) 銀行振込みによる送金（下記銀行口座にお振り込み下さい）

銀 行 名	みずほ銀行 本郷支店
口座番号	普通預金 NO.2789045
口座名義	財団法人 アジア学生文化協会
住 所	東京都文京区本駒込 2-12-13 ☎ 03-3946-4121

3) 郵便振替による送金

郵便振替口座	00150-0-56754
加入者名	財団法人 アジア学生文化協会

*振替用紙は『アジアの友』に挟み込まれています

お問合せ先：(財) アジア学生文化協会 50周年記念事業委員会事務局

〒113-8642 東京都文京区本駒込 2-12-13 アジア文化会館

Tel.+81-3-3946-4121 Fax.+81-3-3946-7566 E-mail: asca50com@abk.or.jp